

■ 掘削前のリスク低減策

後年度に掘削するエリアについては、掘削するまでの期間を利用して廃棄物層の換気対策や浸出水対策を行い、掘削時には作業環境等を改善させる方法の検討を行う。

作業環境を主とした掘削時のリスク対策としては、

VOC対策、硫化水素対策

等があげられるが、いずれも**廃棄物層の水位低下、好気性環境の形成**による事前対策が有効と考えられる。

現段階では、浸出水集排水管を掘削予定標高に随時設置することで事前に地下水位低下を図りながらスライス方式で掘削をすすめることとしている。

なお、今後の作業環境状況によっては、以下のような対策について追加検討が必要である。

【掘削前リスク低減策（例）】

- ガス抜き管の設置（浅層、深層）
 - ウェルポイント工法等による水位低下
 - 横抜きドレーン管による水位低下
 - 土壌ガス吸引
 - 地下水揚水
 - エアースパーキング
 - バイオレメディエーション
- 等

